第5期 小坂発展会/豊田市商業連合(協)活性化計画【計画期間R7年度~R10年度】

1 現状と課題の分析

| ①地域概況 | 小坂発展会は、愛知環状鉄道新豊田駅の南西側に位置する非常に広範囲な商店の組織である。発展会の区域内には、産業文化センター、美術館、市民文化会館、また新たに令和6年度オープンした博物館等の公共文化施設や毘森公園があり、文化と緑を感じることのできる地域である。 | | | | | | |
|---------------------------------------|--|--|-----|------------|------------|-------------------------|--|
| ②最寄り駅 | ų. | 名鉄 豊田市駅 愛知環状鉄道 新豊田駅 距離 300m | | | | | |
| ④商店街区域 | 豊田市小坂自治区に準じる、小坂本町、小坂町、(三軒町・神田町・朝日町の各一部) | | | | | | |
| ⑤商店街区域内の 商店数 | 不明 | 不明(区域が広いため調査不可能) | | | | | |
| ⑥うち組合加入 店舗数 | | 77 ⑦うち空き店舗数 0 | | | | | |
| ⑧商店街の | | 店(34店 44%)、サーチ・卸(10店 12%)、 | | | | | |
| 加入店舗構成 | 小売 | 小売・卸内訳:生鮮三品(1店 10%)、衣料品(3店 30%)、 その他小売り(6店 60%) 合計10店 | | | | | |
| ⑨商店街の特徴、強み | ②新 ③ふ る。 | ①直近15年未満に加入した店舗が全体の40%以上を占め、新しい店舗が多い。 ②新しい店舗のほとんどが飲食店で、飲食業が全体の半数近くを占めている。 ③ふれあいを大切にする昔ながらの気風と、新しい営業スタイルがうまくミックスしている。 ④会員相互のつながりを深くしてお互いの助け合いが出来る。 | | | | | |
| ₩ # # ⁻ # | <u> </u> | | | | | | |
| ⑩来街者 (主なもの一つにO) | \bigcirc | 若者 | | 観光客 | \bigcirc | その他(美術館の企画展等の周辺イベント参加者) | |
| ⑪来街者交通手段 | | 徒歩 | | 自転車 | | バス | |
| (主なもの一つに〇) | | 自家用車 | 0 | 鉄道 | | その他() | |
| ②来街者の | | 15分未満 | 0 | 15分以上30分未満 | | 30分以上1時間未満 | |
| 来街に要する時間 (主なもの一つにO) | | 1時間以上 | | | | | |
| ⑬商店街等が抱える 課題・問題点 | ①会員の店舗が広域に点在しておりゾーンを形成していないため、発展会全体での共同販売は取組みにくい。②15年未満に加入した店舗が増加し、会員の年齢構成も若いが、逆に昔からの地場の店舗や店主が減少傾向にある。近年加入した若い店主らをいかに発展会活動に巻き込んでいくかが、今後の課題である。 ③地元の活性化につながるイベントを会全体で考え、実行できる組織づくりをする必要がある。 | | | | | | |
| ⑭地域住民ニーズ | 若い | 冷家族、子供が喜ぶ安 | そ全で | 『楽しいイベントを① | `画。 | | |

2 商店街の目指す将来像及び目標

| ①商店街の目指す | ①「にぎわいづくり」、「安心・快適・便利な発展会の環境づくり」、会員ニーズに基づき小さなアイデア・小さな取組みの積み重ねにより、活性化を目指す。 |
|---------------------------|--|
| 将来像 | ②地域に貢献する発展会として、発展会内外とのコミュニケーションを強化し活性化を目指す。 |
| ②基本目標 (4年後の達成目標 数値) | 会員数の維持 (令和7年:77店舗→令和8年:78店舗→令和9年:79店舗→令和10年:80店舗 |

1

| ①事美 | 坐 夕 | 小坂納涼夏祭り | | | | | | | |
|--|---|---|---|-----------------------------|---------------------------------|----------------|--|--|--|
| U # * 1 | | 事業区分 継続 事業開始年度(継続の場合のみ) 昭和 | | | | | | | |
| ②実加 | 施予定時期 | 令和7年 4月 ~ 令和11年 3月 | | | | | | | |
| ①毎年1回、小坂区が開催する盆踊り大会に楽しい安全なイ ②発展会PRチラシや発展会マップなどを配布したり、抽選会 るように努め、地域住民の会員店舗に対する認知度を高める ③楽しくて魅力のある夜店作りと出店数の充実を図る。 ④会員の店舗名を記載した看板やまつり協賛店の紹介看板を | | | | | したり、抽選会の景品 認知度を高める。 実を図る。 | を会員店の協賛品にす | | | |
| ④必要 | 要性・目的 | ①地域に貢献する発展会として、自治区と連携した行事に積極的に参画する。 ②地域住民に、遊びや憩いの場を提供し、地域との結びつきを強化する。 ③新しく転入されたアパート、マンションのご家族にも、小坂を心のふるさととしてにい。 | | | | | | | |
| | ーゲット・ ンセプト | 小坂自治区の全ての住民、家族、約3,000世帯 | | | | | | | |
| | 業費・ 算性の説明 【事業費】 1,000,000円 【採算性】 小坂区住民及び区外からの参加者を含め、2,500人の集客効果及び新規顧客の開拓 | | | | | 听規顧客の開拓 | | | |
| ⑦新規取組内容、改善点(先導性、先進性、モデル性等) は中毒や熱中症等の夏場に想定されるリスクを防ぐため、屋台での接客等にあたるといる。 では、モデル性等) といる では、 これ できない できない できない できない できない できない できない できない | | | | | | | | | |
| 8事 | 業効果 | 事業の安全性を確保で 街者や会員店の増加し | するとともに、夜店出店会員の参画を増やすことで、イベント後の来 こつなげる。 | | | | | | |
| | 票 西指標 定手法 | 発展会員の参加店舗を増やし認知度アップを図る。 | | | | | | | |
| ⑩推注 | 進体制 | ①発展会役員と会員店の協力スタッフによる。 ②飲食店会員を中心とした夜店出店会員。 | | | | | | | |
| | 連計画や事業 地域の動き等) | 小坂自治区事業 小坂区女性会や環境委員と連携して実行 | | | | | | | |
| | 項目 | 7年度【1年目】 | 8年度【 | 2年目】 | 9年度【3年目】 | 10年度【4年目】 | | | |
| ① 計 | 事業 | 8月~実施 8月~実施 8月~実施 8月~実施 | | 5月~準備会議 8月~実施 9月~結果分析 | | | | | |
| 画期 | 予算 (千円) | 1,000千円 | 1,000千円 | | 1,000千円 | 1,000千円 | | | |
| 間のの事業 事業関連計画や事業 小坂自治区協力事業 小坂自治区協力 | | Σ協力事業 | 小坂自治区協力事業 | 小坂自治区協力事業 | | | | | |
| ジュー | 市補助金の申請見込み | 有り | 有り | | 有り | 有り | | | |
| 'n | 日標達成状況 会員店による夜店出店 会員店による夜店出店 会員店による夜店出店 数 7店 数 8店 数 9店 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

| ①事業名 | | 小坂発展会感謝祭 (ファンフェスタ) | | | | | | |
|---|--|--|-----------------------|-----------|-----------------------|----------|--|--|
| | | 事業区分 継続 事業開始年度(継続の場合のみ) 令 | | | | み) 令和3年度 | | |
| ②実加 | 施予定時期 | 令和7年 4月 ~ 令和11年 3月 | | | | | | |
| 3具(| 本的内容 | 普段商店街を利用している小坂区民を主に対象とした感謝の気持ちを込めたイベント。 屋外の会場に屋台及びテーブル・椅子等を設置し、子供も安心して楽しめるスペース(音楽イベントや屋台等)を設ける。 | | | | | | |
| 屋外での開催、柔軟な開催日の設定など、状況に合わせて開催できる新たなイク ④必要性・目的 | | | | | | | | |
| | ーゲット・ ンセプト | 小坂区民を中心とし コロナ禍でも発展会 小坂発展会のファン | が存続できて | | 用している人。 対する感謝の気持ちを | 伝えるイベント。 | | |
| 【事業費】 1,000,000円 【採算性】 ファンフェスタを開催することで顧客の利用頻度を増やす。小坂発展会のファンす。 | | | | 展会のファンを増や | | | | |
| 善点 | 規取組内容、改 (先導性、先進 モデル性等) | 屋外で開催し、その他発展会イベントと比較して規模を縮小することで開催日の変更や イベント内容の見直し等にも柔軟に対応できるイベントとする。 | | | | | | |
| 8事美 | 業効果 | 発展会のファンを増やし、顧客の来街頻度を増やすことで、会員店舗の売上アップにつながる。発展会が活性化することで新規会員獲得につながる。 | | | | | | |
| | 票 西指標 定手法 | 評価指標 会員店 目標値 8店以 | による屋台出 上 | 店数 | | | | |
| ⑩推進体制 | | 発展会役員を中心とする | | | | | | |
| | 重計画や事業 地域の動き等) | 旧感謝祭事業での様々な出会いを大切にして、小坂発展会のファン作りを展開し宣伝効果を図る。 また、他の豊商連関連団体とのコラボ事業など小坂区地域に新鮮さを取り入れて、 事業や各会員の顧客増員につなげる。 | | | | | | |
| | 項目 | 7年度【1年目】 8年度【2年目】 9年度【3年目】 | | 10年度【4年目】 | | | | |
| ① 計 | 事業 | 年1回開催 | 年1回開催 | | 年1回開催 | 年1回開催 | | |
| 画期間 | 予算(千円) | 1,000千円 | 1,000千円 | | 1,000千円 | 1,000千円 | | |
| の事業スケ | の 事業 男連計画や事業 小坂発展会のファン作 りを展開する。 小坂発展会のファン作 りを展開する。 小坂発展会のファン作 りを展開する。 小坂発展会のファン作 りを展開する。 | | 小坂発展会のファン作 りを展開する。 | | | | | |
| ジュー | 市補助金の申請見込み | 有り | 有り | | 有り | 有り | | |
| 日標達成状況 会員店による出店出店 会員店による出店出店 会員店による出店出店 会員店による出店出店 数 6店 数 7店 数 8店 | | | 会員店による出店出店 数 8店 | | | | | |

| ④ 本 # 7 | | 情報発信事業 | | | | | | | |
|--|---|---|-------------------|----------------|--------------------|--------------------|--|--|--|
| ①事 | 美名 | 事業区分 | 継続 | 事業開始。 | 年度(継続の場合の |)み) 平成29年度 | | | |
| ②実加 | 施予定時期 | 令和7年 4月 | 1 | | | | | | |
| 3具(| 本的内容 | ホームページ(HP)のリニューアル スマホ対応のホームページ、facebook等を中心としたSNSによる情報の発信 | | | | | | | |
| 4必至 | ホームページを作成し、発展会事業の「見える化」と迅速な情報発信をすすめる ④必要性・目的 会員店の営業に活かすとともに、地域住民を含めた発展会内外とのコミュニケーカの向上に活用する。 | | | | | | | | |
| | ーゲット・ ンセプト | | | | | | | | |
| | 業費・ 算性の説明 | 【事業費】 ホームページ 1,000,000円 【採算性】 既存の会員店、新入会員店の紹介、イベントの迅速な告知・参加者募集に活用するととも に、地域住民を含めた発展会内外のコミュニケーションに活かす。 検索上位に位置するよう絶えず更新し、消費者の利便性を高め、アクセス数のアップを目 指す。コロナ終息後は、インバウンド利用者、多言語化に対応できるよう更新していく。 | | | | | | | |
| ⑦新規取組内容、改善点(先導性、先進性、モデル性等) ①既存HP以上に見やすく活用しやすいものへ作り直す。地元のHP作成会社に変更 ②各店舗のクーポン配信等の活用につなげる。 ③消費者向けの情報発信だけではなく、会員向けの情報発信もできるプラットで 役割を追加する。 | | | | | | | | | |
| ⑧事美 | 業効果 | 広域的な情報発信をすることにより、小坂発展会の知名度を高め、新規顧客の獲得やイベントへの集客につなげる。 | | | | | | | |
| | 票 西指標 定手法 | アクセス数のアッ | ップ、ページビュ | .ーのアップ | | | | | |
| ⑩推進体制 | | 発展会役員、若手会員を中心としたスタッフ | | | | | | | |
| | 連計画や事業 地域の動き等) | | | | | | | | |
| | 項目 | 7年度【1年目 | ■】 8年度【 | 2年目】 | 9年度【3年目】 | 10年度【4年目】 | | | |
| ① 計 | 事業 | 既存HPの運用 | HPの設計 | | 4月~本格運用 維持管理・更新 | 4月~本格運用 維持管理·更新 | | | |
| 画期 | 画 | | HPの作成到 1,000千円 | 豊 | | | | | |
| 間の事業スケ | 関連計画や事業 | ふれあいマップと(有したデータ作成 | の共善ふれあいマ | ップと同時期 | | | | | |
| グ ュ 市補助金の申請見込み | | | 有り | | | | | | |
| 目標達成状況 HPアクセス数 10,000 HPPアクセス数 10,000 HPPアクセス 10,000 HPPアクセス 10,000 HPPアクセス 10,000 HPPアクセス 10,000 HPPアクセス 10,000 HPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPP | | | | HPアクセス数 10,000 | | | | | |

| (1) 事 类 (2) | | 小坂発展会ふれあいマップ | | | | | | | |
|---|------------------------------|--|--------------------|-------|------|--------|-----|---|-------|
| ①事業名 | | 事業区分 | 新規 事業開始年度(継続の場合のみ) | | | | | | |
| ②実施 | 施予定時期 | 令和7年 4月 ~ 令和11年 3月 | | | | | | | |
| ③具体 | 本的内容 | 会員店舗、事業所所在地をイラスト調に楽しく見やすいマップを作成し、各店舗、公共施設、小坂区内の各家庭に配布、発展会会員の場所、利便性を知ってもらうためのツールを用いる。 | | | | | | | |
| ①新しく小坂区に入居した方、出張族等々、生活に必要な情報源。 ②飲食以外の業種との連携も検討し、小坂地区と小坂発展会の一層の認知度アップす。 | | | | | | ップを目指 | | | |
| ~ + | ーゲット・ ンセプト | 小坂自治区民 | | | | | | | |
| 【事業費】 1,000,000円 【採算性】 | | | | | プを提供 | することで、 | 小坂角 | | |
| 善点 | 規取組内容、改 (先導性、先進 モデル性等) | 新規事業 HP上に伝えたい情報画面をPDF書式等利用して掲載する。 マップ紙面上に小坂発展会ホームページのQRコードを掲載し、スマホで飛ばせるようにする。 | | | | | | | |
| ⑧事美 | 業効果 | 迅速で広域的な情報発信をすることにより、小坂発展会の知名度を高め、新規顧客の獲得 増加や発展会事業イベントの集客につなげる。 | | | | | | | |
| | 票 西指標 定手法 | 配布枚数 小坂自治区世帯数十小坂自治区店舗数他500部 | | | | | | | |
| ⑩推進体制 | | 発展会役員を中心とする | | | | | | | |
| | 連計画や事業 地域の動き等) | | | | | | | | |
| | 項目 | 7年度【1年目 | 8年度【 | 2年目】 | 9年度 | 【3年目】 | 10年 | 度 | 【4年目】 |
| ① 計 | 事業 | 会員データ集計、調 | 会員データ第 後、作成(予) | | | | | | |
| 画期 | 予算 (千円) | | 1,000千円 | | | | | | |
| 間の事業スケ | 関連計画や事業 | ホームページとのま したデータ作成 | 共有 ホームペー に作成・運 | | | | | | |
| ジュー | 市補助金の申請見込み | | 有り | | | | | | |
| , , , | 目標達成状況 | | 小坂自治区 500部 | 至世帯数+ | | | | | |
| | | <u> </u> | 1 | | | | 1 | | |

4 区域内における不足等業種

① 当商店街(商工会)が掲げる不足等業種

| | 喫茶店/カフェ |
|---|----------------|
| | |
| | |
| • | |

② 上記業種を不足等業種として掲げた理由(簡潔に)

・小坂発展会は、飲食店がおよそ会員の半数を占めているがゆっくりくつろいで過ごせるようなカフェは1軒しかなく、また1人当たりの小坂発展会での滞在時間が短いため。

③ その他参考情報等